

教育目標『ふるさとを愛し 自ら考え たくましく生きる児童の育成』

～思いやりのある子・進んで学ぶ子・たくましい子～



# 松小だより

令和6年12月17日(火)

学校通信 第40号

発行 学校長

電話 027-393-1521

※個人情報の取扱にご留意ください。

〈松井田小ホームページ <http://www.annaka.ed.jp/shin-matsuida/>〉



## 53年間の歴史に幕

～松小 Smile Band 解散!!～



長い間、ご家族の皆様をはじめ、卒業生や地域の皆様には、本校のマーチング活動をご支援いただき、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。本来であれば、9月28日に開催しました運動会での Last Stage が最後の演奏となる予定でしたが、保護者の皆様には、その後の細野小での Special Stage、横川での Final Stage と、例年よりも2か月も長い活動時間の延長にご理解をいただきました。53年間の長い歴史に幕を下ろす節目の年に、ご家族の皆様にも子供たちの最後の雄姿を一緒に見届けていただけたことを本当に嬉しく思います。



感動的なフィナーレから早いもので3週間以上が経過しました。たくさんの保護者や地域の皆様からお言葉をいただくたびに、あらためて子供たちはものすごい場所で大変な偉業をやったのけたのだと感じます。最後に残されたこと、なすべきことは、お世話になった皆様に感謝の気持ちを伝えることです。まずは、最後を飾るにふさわしい素晴らしいステージを用意してくださった碓氷峠鉄道文化むらの職員の皆様に、児童を代表して指揮者の ○○ ○○ さんが感謝の気持ちを伝えに行ってくれました。12月12日(木)

事務室では、○○事務局長様と○○館長様が迎えてくださいました。感謝の言葉とともに子供たちからのメッセージをお渡しすると、周囲の職員の皆様からは温かい拍手が送られました。たくさんの職員の皆様から「当日の演奏を聴いてとても感動した」とのお言葉もいただきました。安全確保、楽器保管場所の提供や運搬、音響機材の準備、園内放送の調整、割引券等の手配、広報活動など、このステージの成功のために、理事長様をはじめ職員の皆様には最高のサポートをしていただいたと思っています。おかげで、子供たちがご家族の皆様と一緒思い出をつくることができました。心から感謝いたします。

また、JR東日本高崎支社の皆様にも、感謝の気持ちでいっぱいです。単なる一小学校のイベントに、ここまで協力していただけたとは夢にも思っていませんでした。7月だったでしょうか、無理を承知で恐る恐るお願いの電話を掛けた時のことが昨日のこのように思い出されます。思えばあの時の一本の電話からすべてが始まりました。「本当ですか！やりましょう!!」電話の向こうの○○駅長様の力強い声が、私自身にも企画実行の勇気を与えてくださいました。ファイナルを迎える者同士のコラボ企画は、多くの鉄道ファンにもプラスαの感動をお届けすることができたようです。子供たちが演奏で見送ったEL/DLぐんま2finに乗車していたお客様から学校にメッセージが届いたときには、たいへん驚いたのと同時に、繰り返しになりますが、子供たちは本当にすごいことをしたのだと思いました。

一昨年の総合的な学習の時間に、前安中駅長様をゲスト・ティーチャーとして本校にお迎えしたところからご縁が生まれ、昨年は横川駅でSL車両を演奏で迎えるという素晴らしい発表の場をいただきました。その時には、4年生以上の児童の約半数の33名が参加してくれました。8月27日に動画で最終公演の告知をした後は、どれだけ都合をつけていただけるか不安でいっぱいでした。ところが児童数が減少する中、50名を超える児童が参加を表明してくれました。本当にありがたく、多くのご家族の皆様がこのイベントの趣旨を理解していただいたことに、涙のあふれる思いでした。



大きな節目の年にあたり、ビッグイベントを終えた後は、子供たちの心にけじめをつけて、それぞれの Next Stage へと送り出す必要がありました。そこで企画したのが12月16日(月)5校時に開催した「松小 Smile Band 解散式」です。まずは映像で2学期の活動を振り返りました。運動会での Last Stage、細野小での Special Stage、そして横川での Final Stage・・・。群馬テレビで放送されたニュース番組、演奏の動画、そして現在本校ホームページで限定公開中のスライドショーを視聴しながら4年生以上56名全員の活躍を写真と動画で振り返りました。

また、かねてより缶バッジを製作してくださった、まだお会いしたことのない〇〇様にも、直接お礼を申し上げたいとお願いしてきましたが、この解散式に〇〇駅長様とともにお越しくださいました。とても感激でした。缶バッジに込めた熱い思いを、あらためて製作者ご本人様からうかがうことができました。子供たちは直接お会いしてお礼を述べる事ができて、とても嬉しかったようです。本当にありがとうございました。〇〇駅長様には、屋上で練習していたときから子供たちの様子を見に来てくださり、励ましのメッセージと一緒に「出発進行！」の練習をしていただきました。いつも明るい笑顔で子供たち



を包んでくださり、不安でいっぱいだった子供たちの心を和ませてくださいました。子供たちからお二人には、感謝のメッセージをお渡しいたしました。左の写真に写っている児童二人のお辞儀からも、心の底から感謝の気持ちを届けたいという思いが伝わってくると思います。来年はJR信越本線開業140周年の節目の年にあたるそうです。〇〇駅長様からは、「ぜひまたコラボしましょう！」と、子供たちにメッセージをいただきました。

解散式ではその後、児童を代表して指揮者の二人から一緒に歩んできた仲間に対して、最後のあいさつがありました。つらいことや苦しいことを乗り越えて、ここまでたどり着いたことに万感の思いを寄せていました。いよいよ長い歴史を積み重ねてきたマーチング活動も、本当に幕を閉じる時がきました。ふるさとの大空に再び美しいメロディーを響かせてくれた Smile Band。その姿は、多くの皆様に感動を与えてくれました。偉大な子供たちはふるさとの誇りです。たくさんの支えてくださった皆様に感謝しつつ、最後は名前のおり笑顔でお別れしましょう。Smile Band 解散! お疲れさま!!

本校ホームページ TOP 画面右側 Topics [令和6年度]「Smile Band 感想文集」に、児童と皆様からお寄せいただきました感想文を掲載しました。たくさんの心温まる投稿をありがとうございました。まもなく Smile Band へのメッセージ・フォームのリンクは閉鎖いたします。



〇〇駅長様の合図で、それぞれの Next Stage に向けて「出発進行！」